

第4次大分市商工業振興計画 第2回策定委員会 議事録（要旨）

◆ 日 時 令和8年8月19日（水） 14:30～16:30

◆ 場 所 大分市役所第2庁舎6階 大研修室

◆ 出席者

【委 員】

渡邊 博子、田北 裕之、山田 明広、森 晴繁、渡邊 将貴、穴井 壯志、高橋 知恵、
浅見 陽央、古川 毅彦、齋藤 正行、清家 夏実、藤田 泰次郎
の各委員（計12名）

【事務局】

商工労働観光部 審議監 渡邊 祐美 次長 安達 浩
商工労政課 商工労働観光部次長兼商工労政課長 幸 紀宏、同参事 工藤 博士、
同参事補 狩生 浩一郎、同主査 志賀 祐介、同主事 濱田 和哉

【作業部会】

商工労政課 参事補 河野 玄、同参事補 関口 功二、同参事補 安部 順司、
同主事 永藤 里菜、
創業経営支援課 課長 後 竜太郎、同参事 長藤 聡、同参事補 奥野 剛士、
同主査 坂本 亮、
観光課 課長 樋口 文昭、同主査 秦 航佑、
おおいた魅力発信局 局長 緒方 賢一郎、同主査 岡部 秀登
農政課 主任 小俣 昂平、生産振興課 専門員 中村 泰基、
公設地方卸売市場 参事補 松尾 裕之、人事課 戸高 健志、
契約監理課 参事補 竹之内 誠、企画課 主査 松岡 健太
DX推進課 参事補 村田 真一、環境政策課 主査 西山 恵美、
学校教育課 指導主事 末松 哲郎

◆ 次 第

1. 開会

2. 報告事項

- （1）第3次大分市商工業振興計画の進捗状況について
- （2）市民向け・事業者向けアンケート調査の集計結果について
- （3）第4次大分市商工業振興計画 総論（案）について
- （4）第4次大分市商工業振興計画策定委員からの事前質問について

3. 議事

- （1）基本施策「1. 新たな産業の創出・育成」について
- （2）基本施策「2. 産業集積の推進」について

4. その他

5. 閉会

進行：事務局	1. 開会
進行：委員長	2. 報告事項
事務局	(1) 第3次大分市商工業振興計画の進捗状況について (2) 市民向け・事業者向けアンケート調査の集計結果について (3) 第4次大分市商工業振興計画 総論（案）について (4) 第4次大分市商工業振興計画策定委員からの事前質問について (1)～(4)の内容について説明。
進行：委員長 事務局	3. 議事
委員	(1) 基本施策「1. 新たな産業の創出・育成」について (1)の内容について説明。 <(1)に関する協議内容> ----- 【質問・意見】 P3「若年層にとって魅力的な仕事を創出するため、本市に集積する、鉄鋼、化学、半導体、電子・電気機器などの多種多様な大企業、それを支える高度な技術力を持つ中小企業などと、起業を考える若者等をマッチングさせることで、若年層を始めとする創業の好循環を生み出すことが不可欠となっています」について、若者の創業者を増やすことは、若者の大都市圏への流出に歯止めをかけることに密接に繋がらないと感じる。若者の大半は社長（創業者）を目指す訳ではなく、一社員として県外に出ていくと思われるため、創業者を増やしても大都市圏への流出防止にはあまり結びつかないのでは？
事務局	【回答・協議結果】 若者が創業者として生み出す仕事が、若者にとっての魅力的な仕事につながるという視点からこのような文章にしております。
委員	【質問・意見】 今のご意見を踏まえて、創業や起業に加えて、魅力ある仕事づくりに関する記載を一言・二言入れることは可能か？
事務局	【回答・協議結果】 文言については、より分かりやすくなるよう記載を調整してまいります。
委員	【質問・意見】 どの分野においても前提は人材であり、若者などの流出に歯止めをかけることや、市外から人材を確保することなど、どこかの項目の文章の

	中に力強い文言を入れていただきたい。
事務局	【回答・協議結果】 各論の中に文言を入れるよう検討してまいります。
委員	【質問・意見】 成長産業について AI・半導体などのキーワードがちりばめられているが、こういったキーワードはジェトロでも同じようなテーマでやっている。日本国内だけでは上手くいかない部分もあるので、海外からの力を取り込む視点も入れてもいいのでは？ 海外との接点はジェトロがあるので、ご活用いただければと思う。 また、事業や人材を海外から引っ張ってくるようなリソースを使うという視点も入れてはどうか？
事務局	【回答・協議結果】 人口減少社会の中では、外国人材の活用は避けては通れないと考えています。海外からの人材雇用の施策も検討するとともに、若者の県外流出を食い止め、魅力ある大分市として取り込んでいく部分も施策として検討してまいります。ご意見については、課題として案に盛り込んでいければと考えております。
委員	【質問・意見】 海外の先端技術（半導体や AI）、エコシステムなど、人材だけでなくそういったリソースについても交流が重要であると思う。
委員	【質問・意見】 P6 重点分野について、「AI・半導体」「医療関連」「クリエイティブ」「エネルギー」とあるが、市内にどれくらい企業があるのか、従業員がどの程度いるのか、ニーズが何なのかなどを把握していく必要があると思う。
事務局	【回答・協議結果】 100社訪問などを通じてニーズ等の調査をしてまいります。
委員	【質問・意見】 総論の脱炭素社会の取組の語順は変えた方がよいのでは？ リスク面を並べている中に脱炭素社会の取組があるので、脱炭素社会に取り組むことのリスク面が強調されているように感じてしまうので、1か所目に文中に入れ込んだ方がよいのでは？

事務局	【回答・協議結果】 語順のバランスを調整してまいります。
委員	【質問・意見】 資料４－① 計画の体系図について 総合計画では「誰もが“幸せ”を実感できるまち OITA」と掲げているので、「勤労者福祉の充実」ではマイナスをゼロにするという意味合いが強いので、もっとプラスとなる表現に変えた方がよいのでは？
事務局	【回答・協議結果】 総合計画との整合性を図るため、原案のとおり「勤労者福祉の充実」としたいと考えております。
委員	【質問・意見】 例えば、総合計画ではウェルビーイングという言葉も使われていますが、そういった言葉を使うことについてはいかがでしょうか？
委員	【質問・意見】 「ウェルビーイング」という言葉は健康などの意味合いも含むと思うので、ここで使うのには馴染まないように思う。また、各論４の議論の中でいろいろな言葉を出して整合性をとっていったらいいのではないかと思う。
委員	【質問・意見】 若手起業家育成施設 Mirattend は、開館から約２年経ち、認知が広がり、利用者も増えていると感じることから、P2 若手起業家育成施設の後に「Mirattend」という名称を入れて、取組をアピールしてもよいのでは？
事務局	【回答・協議結果】 「Mirattend」は愛称になりますので、文言を追加するかを検討させていただきます。
委員	【質問・意見】 P7 「AI・半導体関連産業」について、市や県が大分でもAIを積極的に活用しているということをアピールできるといいのではないかと思うが、行政でAIを活用されたりしているのか？
	【回答・協議結果】

事務局	機密情報の入力はできませんが、大分市でも生成 AI を活用しています。
委員	【質問・意見】 AI を活用して出た成果などをアピールしていくとよいのではと思う。弊社でも使用しているが、機密情報を入れるため、無償のものは情報が流出してしまう可能性があるので、有償である程度質の高いものにするのに、苦労して導入した経緯がある。企業の普及を促す際にそのような課題があるため、ノウハウなどを提供できると促進につながり良いのではないかと感じた。また、P1「国内においては、～」という冒頭の表現のなかに、「安全保障環境」や「国家間の産業・技術競争の激化」とあるが、国際的な話となるため、修正を検討していただきたい。
委員	【質問・意見】 P1の文章について、現行計画のように、本市の話、国内の話、そうした流れから本市は取組を進めていかなければならないといった流れの方が良いのではないか。
事務局	【回答・協議結果】 国の資料も踏まえて、書きぶりについては再度検討してまいります。
委員	【質問・意見】 創業については、生活関連サービスなどの身近な業種が多い。なかなか若者にとっての魅力にはつながりにくいと思う。若者にとって魅力となるような、成長産業などの育成が必要であると思う。その中で、P13にある KPI を累計で5件と設定した理由はあるのか？ 年1件で設定していることは分かるが、年1件に根拠があれば教えていただきたい。
事務局	【回答・協議結果】 本 KPI の直近5年間の実績が3件となっており、当該実績を踏まえ、次の5年間では年1件の計5件としております。
委員	【質問・意見】 難しい課題ですが、商工会議所としても UIJ ターンの取組を行っており、魅力的な企業が少ないといわれることが多く、商工会議所としては企業立地・誘致は難しい部分である中で、KPI が出てきたので我々も達成できるようにご協力できればと思っている。 【質問・意見】

委員	P2の「創業者等と本市が誇る多様な大企業、中小企業等の地域資源を結び付け、若年層を始めとした創業の好循環を生み出すことで」とあり、その後 AI や DX などの新しい技術が出てくるが、既に熟練技能者が持っている貴重な技術が段々となくなっていく状況であるので、その技術と新たに創業した企業や誘致した企業の組み合わせについて重要と考えるが、文言に入れられないか？
事務局	【回答・協議結果】 年配の方々が増えてきて今ある技術が継承されないということで、事業承継の課題も出てきておりますが、事業承継の話は基本施策3で触れていきます。また、この章でも入れられないか検討してまいります。
委員	【質問・意見】 創業について、国の「オープン・イノベーション」や「スタートアップ育成5か年計画」などを参考にしているのはよいと思うが、実際には生活に密着した創業が多いように見受けられるので、創業とひとくくりにせず、成長産業に結び付くような創業と区別をして書かれた方がよいのでは？エコシステムも既存のものや伝統的な技術はとても大事で、海外からの取入れや企業立地など、外からの資源もかかわってくるので、ビジネスエコシステムをいかに次のステップに結び付けるかということが具体的に出ていたらありがたい。 創業支援に関する事業が、実際に若者が地元に残ることに結び付いたのか、成果をどのように分析、検証していくかが重要であるため、成果について記載することは可能か？また、今の段階で、どういう形で大分市にどれだけいい影響を与えているかを追加すると良い内容になるのではと思うがいかがか。
事務局	【回答・協議結果】 例えば、現在若手起業家育成施設「Mirattend」では、サポート企業という制度があります。市内企業等が若い方が相談した際に、専門的な相談に対応していただいていることや、場合によってはイベント等で資金を出資していただくなどの支援制度があります。このように、地域の企業と結びつけて支援するなどを行っていますので、いただいた意見も含めて、もう少しわかりやすいように文言は整理させていただきます。
進行：委員長 事務局	（２）基本施策「２．産業集積の推進」について （２）の内容について説明。 <（２）に関する協議内容> -----

委員	【質問・意見】 企業の誘致について 本市が企業の誘致を受け入れられる体制づくり（水、電力など）、環境整備が重要ではないか。本文中にそういった環境整備に関する文言を入れるとよいのでは？例えば、P3 情報発信のところに加えてはどうか？
事務局	【回答・協議結果】 企業誘致に当たっては、インフラなどの整備も重要と考えます。文言を入れられるか検討してまいります。
委員	【質問・意見】 資料6、1ページ目の一番下の段落で、流通業務団地のことを書いており、3ページ以降に企業立地の推進で産業用地の話が出てくるが、流通業務団地と企業、工場を誘致する産業用地では流通業務団地には用途制限があるため、産業用地とは意味合いが少し異なりますが、1ページに、流通業務団地に関する記載があるが、喫緊の課題である産業用地、工場用地のことも記載したほうがいいのでは。
事務局	【回答・協議結果】 P1に入れられるか検討してまいります。
委員	【質問・意見】 P16 産業用地50ha というのは流通拠点に限定したものでないという認識でよいのか？その場合、施策の方針「（2）流通拠点の充実」についての目標が、産業用地に関するもので本当に良いのか？
事務局	【回答・協議結果】 委員のご指摘の通りです。 資料に誤りがあり、この指標についてはあくまで基本施策「2．産業集積の推進」に関する KPI であり、「（2）流通拠点の充実」に関する KPI ではありません。資料については訂正させていただきます・
進行：委員長	4. その他
委員	【質問・意見】 商店街の事業者としては、環境に応じて消費行動にどう対応していくかを考えている。本計画のコンセプトから落とし込まれた支援によって事業者は支えられている。最近では、高温多湿の状況のため、不要不急の活動を控えるよう報じられることや、バスの減便をはじめ、まちなかの中心部

委員	に来る人が減っていると感じる。 少子高齢化も含め環境として逆風が吹く中で、日々もがきながら過ごしているが、その中で外国人の方、特に若い方はハングリー精神があるので、彼らから学ぶべきこともあると感じる。外国の方と意見交換する機会があるとよいと感じる。全然違うところから来た人たちの視点が参考になるのでは。 学生が実社会で体験していただく場、機会などを第4次計画に盛り込めないか？拠点づくりや新しいことへのチャレンジが重要。 【質問・意見】 ゼミ生として企業と商品開発を行っていることや、イベントを開催したりしており、フィールドワークでしか体験できないことがある。大学生と企業とのつながりは貴重なので、組織をつくって継続していく必要がある。 日本の大学生は親に養われている感覚があるが、外国人留学生、実習生は家族に仕送りしている人もおり、気概があると感じる。また、大分県や大分市に就職をしたいと思っている優秀な人でも、外国人ということだけで就職先がしぼられてしまっている現状があり、大分市で働きたくても働く場がないという声を聞くことがあるので、優秀な外国人が活躍できる働く場を増やしてほしい。
委員	【質問・意見】 外国の若い人にチャンスを取られてしまう可能性もあるが。
委員	【質問・意見】 複雑であるが、町を見るだけで外国人労働者が増えた実感もあるので、仕方ないのではと感じている。
委員	【質問・意見】 大分市は若者会議を実際に行われており、外国人会議などを開くかもしれないが、多様な声を聴こうとしていると思うので、施策の中にいれていただければと思う。
委員	【質問・意見】 大分市は恵まれている。臨海工業地帯の発展おかげで町全体の水準が保たれている。県外の人や県外の行政と話をして大分市民でよかったなと思うことがたくさんあるので、恵まれているがゆえに、新しいことにチャレンジすることに遅れが生じているのかなと思う。

委員	【質問・意見】 昔は新産業都市というワードがあったが、キーになるワードが何かないか？ エコタウン、新産都、GX など。分かりやすいキーワードがあると大分市をもっとアピールできる。
事務局	【回答・協議結果】 現在使用しているキーワードはありません。
委員	【質問・意見】 工業連合会で外国人材を養成するような動きはないか？
委員	【質問・意見】 工業連でも動きは出てきていると思う。大分は複数大学があり留学生も多いので、恵まれていると思う。しかしこれまでは中小企業では養成の方法論が少なかった。現在は、外国人の力を借りていかないと企業がまわらなくなっている。言葉の問題や文化の問題がある中で、企業の中でどのように養成方法を組み立てていくのか考えていかなければいけない。 国の制度上のハードルがあって採用できないケースもある。活用ができる施策をしてほしい。
委員	【質問・意見】 ジェトロ大分は APU と組んで外国人留学生を地元企業へ就職してもらうために交流会を行っている。その中で外国人留学生は大分や別府に残りたいと思っている人も多いが、企業の情報や、日本の就活方法などが分からず、東京や関西に行ったり、母国に帰ったりしている現状もある。そのため、企業とのマッチング支援などをすると有望な人材が大分に留まってくれるのでは。 APU の学生と卒業生は海外にいて、ネットワークを使って、地場の企業や地場のまちづくりに参画していくプロジェクトをやっている先生がいるので、それらを活用して地域や商店街のまちおこしなどに国際学生を巻き込んでいくのもいいのではと思う。
委員	【質問・意見】 外国人含む多様性を入れてもらうとよい。計画、実現可能性度を含め、どこの分野に入れるのがいいのかも含め、検討していただければと思う。
事務局	【回答・協議結果】 次回までに検討させていただきます。

委員	【質問・意見】 人口減少で若者が減っている中で、若者の意見を吸い上げることが出来る場が増えるとよい。
委員	【質問・意見】 どこの自治体もこのような計画を作っており、内容が似ている部分も多いが、策定委員会をしている意義として、大分市の今後5年間の独自性、若者や外国人の活用など、大分市ならではの部分を盛り込んでいく必要があると思っている。 アンケートの回収率が低い点については、アンケートは計画を作る基礎となるが、協力を得られなかったのか、期間が短かったのか、タイミングが悪かったのかなどの要因はあると思うが、通常このようなアンケートは30～40%の回収率になることが多い。この結果については、行政の活動が期待されていないのか、信頼感が不足しているのかどちらにしても反省しなければいけない部分であると思う。また、次回のアンケート調査は5年後になるので、こまめに意見を聞く場を作ることや、それらを積み重ねていき、5年後にアンケート調査を実施する時にアンケートの回収率が40%、50%と増えたと行政がやっていることに理解を示してくれるようになったという展開を図ることができれば、産業振興につながっていくのではと思う。 (事務連絡) (閉会あいさつ)